

平成 16 年度細菌検査報告

細菌科

当科で実施した食品の細菌検査の件数を表 1 に示す。
 県内一般食品業者からの委託に加えて、FAZ に関係した冷凍食品等の検査及び対 EU 輸出水産食品の残留動物医薬品等のモニタリング検査を実施した。
 次に、臨床材料由来の細菌検査を表 2 に示した。委託

検査は感染症発生動向調査事業における病原体検査で糞便・咽頭ぬぐい液等の分離同定検査が主であった。衛生検査所からの大腸菌分離株について、ペロ毒素産生試験を実施した。

また、行政検査では保健所からの依頼により食中毒発生時のサルモネラ菌の同定、腸炎ビブリオの耐熱性溶血毒および黄色ブドウ球菌エンテロトキシンの遺伝子増幅検査等を実施した。

表 1 食品等の細菌検査件数

検体数	一般細菌数	大腸菌群 (含E.coli)	黄色ブドウ球菌	サルモネラ	カンピロバクター	腸炎ビブリオ	病原大腸菌 O157	残留動物用医薬品	その他	
魚介類とその加工品	101	15	15	3		3	1	62	耐熱性菌 2	
食肉とその加工品	48	9	10	10	9	8		1	クロストリジウム 1	
乳とその加工品	58	22	22	1	6		6		セレウス菌 1	
野菜とその加工品	84	28	56							
卵とその加工品	2	1			1					
冷凍食品	39	15	15			9				
複合調理食品	13	4	3	3	1	1	1			
菓子類	38	13	13	12						
清涼飲料水	2		2							
計	385	107	136	29	17	8	13	9	62	4

表 2 平成 16 年度月別細菌検査件数（臨床材料由来）

検査項目	月												計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
赤痢菌	12	11	14	12	12	9	7	9	21	19	37	32	195
チフス菌	12	11	14	12	12	9	7	9	21	19	37	32	195
パラチフス菌	12	11	14	12	12	9	7	9	21	19	37	32	195
サルモネラ菌	12	11	14	12	12 17	9	7	9	21	19	37	32	195 17
コレラ菌	12	11	14	12	12	9	7	9	21	19	37	32	195
腸炎ビブリオ	12	11	14	12	12 8	9	7	9	21	19	37	32	195 8
腸管出血性大腸菌	12	11	14	12	12	9	7	9	22	19	37	33	197
下痢原性大腸菌*1	12	11	14	12	12	9	7	9	21	19	37	32	195
カンピロバクター	12	11	14	12	12	9	7	9	21	19	37	32	195
黄色ブドウ球菌										32			32
溶血性連鎖球菌	3	4	1	4	0	1	1	1	2	4	1	1	23

*1 腸管出血性大腸菌を除く

上段：委託
下段：行政